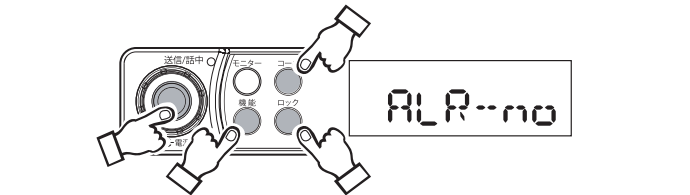


## リセット方法

本機の状態を全て初期状態に戻すことができます。この操作を行うと設定を元に戻すことはできません。

- ① **電源・音量ツマミ**を押し、電源を切ります。
- ② **コールキー、機能キー**および**ロックキー**を押したまま、**電源・音量ツマミ**を押し、電源を入れます。

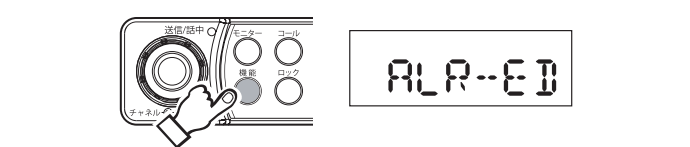


- 電源が入り、リセットの設定が表示され、【NO】が表示されます。
- リセットを行わない場合、【NO】が表示されてるときに**機能キー**を押してください。リセットがキャンセルされます。

- ④ **設定変更ツマミ**を回し、設定を【YS】にします。



- ⑤ リセットするには、**機能キー**を押します。



- 設定が初期化されます。

- ⑥ **電源・音量ツマミ**を押し電源を切り、再度**電源・音量ツマミ**を押し電源を入れます。
- 本機のリセットを行っても、設定していたモードは保持されます。ただし、モードの設定内容は初期化されます。

## 故障とお考えになる前に

サービスを依頼される前に、ご面倒ですが、リセットを一度実行された後に、次のことをお調べください。  
下記の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。

- 電源が入らない
  - 電源コードが外れている。→電源コードと電源端子が接続されていることを確認してください。
  - 外部電源コードのヒューズが切れている。→新しいヒューズ(1A)に交換してください。

- 受信できない
  - 送信または受信のチャンネルが相手の方と合っていない。→相手の方とチャンネルと合っているかご確認ください。
  - 電波が届かない。→相手の方が離れ過ぎていないかご確認ください。
  - 地下やトンネル内である。→地上やトンネルの外に出てから受信してください。

- 音が出ない
  - 音量が小さい。→音量を調整してください。
  - 外部スピーカーの接触不良。→端子を乾いた布で拭き、しっかり差し込んでください。
  - トーンが相手の方のトーンと合っていない。→相手の方のトーンと合っているかご確認ください。
  - キー動作のピープ音が鳴らない。→設定有効時のみ鳴動します。キーを押す時はキーの中心を押すようにしてください。

## 製品仕様

### 一般仕様

送受信周波数.....単信：20Ch、半複信：27Ch、複信：27Ch  
(制御チャンネル含まず)  
電波形式.....F3E、F2D (制御チャンネルはF2Dのみ)  
通信方式.....単信方式、半複信方式、複信方式  
定格電圧.....DC 12.0V ～ 24.0V  
発振方式.....水晶発振により制御する  
周波数シンセサイザー方式  
周波数の許容差.....±4.0ppm  
寸法.....幅 115mm 高さ 27mm 奥行き 145mm (突起物含まず)  
質量.....約 0.6kg (ブラケット含まず)

### 受信部

受信方式.....ダブルスーパーヘテロダイン方式  
中間周波数.....23.05MHz (1st IF)  
450kHz (2nd IF)  
受信感度.....-5dBμ 以下 (12dB SINAD)  
スケルチ感度.....-7dBμ 以下  
受信出力 (8Ω 負荷).....2W 以上 (8Ω 負荷)  
副次的に発する電波等の限度.....4nW 以下

### 送信部

送信出力.....10mW 以下 (10mW 設定時)  
1mW 以下 (1mW 設定時)  
占有周波数帯幅.....8.5kHz 以内  
スプリアス発射の強度.....2.5μW 以下  
最大周波数偏移.....±2.5kHz 以下  
識別符号伝送速度.....2400bps (MSK 方式)  
マーク周波数 (1200Hz)  
スペース周波数 (2400Hz)  
トーン周波数.....67.0Hz ～ 250.3Hz (38 波中 1 波)  
通話時間タイマー.....3 分 (10mW 設定時)  
無制限 (1mW 設定時)

## オプション

CSM510 B.....スタンドマイク (マグネット付き)  
CSM520 B.....ブームマイク (マグネット付き)  
CSM530.....フレキシブルマイク (マグネット付き)

## 保証・アフターサービスについて

- この商品には、保証書を添付しています。保証書は、「お買い上げ販売店印・保証期間」をご確認のうえ、お受け取りください。
- 保証書は、よくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より一年間です。正常なご使用で、この期間内に故障したときは、お買い上げになった販売店または CSR カスタマーサポートセンターで保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
- 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、ご要望により有償修理いたします。
- 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等によるアフターサービスについての不明点は、お買い上げになった販売店または添付の CSR カスタマーサポートセンターにご遠慮なくご相談ください。
- この商品は、無線設備規則第 49 条 14 に基づき、容易に開けられない構造になっています。そのために特殊なネジにより組み立てられています。アフターサービスの際は、必ずお買い上げ販売店または CSR カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- この商品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しております。

### CSR カスタマーサポート



0120-973-698

e-mail：standard\_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ～ 17:00

(土日祝日を除く)

## STANDARD

## 特定小電力無線電話装置

# GX100

## 簡易取扱説明書

このたびは、特定小電力無線電話装置 GX100 をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。  
この製品につきまして、万一御不審な点がありましたら、なるべくお早めにお買い上げ頂いた販売店あるいは CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

## 株式会社 CSR

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 5 丁目 33 番 4 号

当社の最新情報をインターネット上で閲覧できます。

<https://www.kcsr.co.jp/>

Printed in Japan 2025/06

73BC851016



## 安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後はいつでも取り出せる場所に保管してください。

## 絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

	禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
	分解禁止		風呂・シャワー室での使用禁止		注意
	感電注意		指示を守る		ケーブルを抜く

## 警告

- 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では、この機器の電源を切ってください。医療機器や電子機器の動作に支障をきたす恐れがあります。



- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源ケーブルを抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず電源ケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物がこの機器の内部に入った場合は、まず電源ケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、破損した場合は、電源ケーブルを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



- この機器を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。



- この機器を水につけたり水道やシャワーなどの水流を直接かけることは避けてください。火災・感電・故障の原因となります。水に濡れた場合は、水滴を早めに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



- この機器の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



- 電源ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルがこの機器の下敷きにならないようにしてください。ケーブルに傷がついて、火災・感電の原因となります。ケーブルの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。



- 濡れた手でこの機器の電源ケーブルを取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。



- 本機の分解は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。
- 本機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）第 2 条 8 号「工事設計の認証（認証）を受けた無線局」です。本機の天面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。



## 注意

- この機器が近くのテレビ・電子機器・医療機器等に影響を与えるときは、ご使用にならないでください。
- 長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源ケーブルを抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源ケーブルを抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源ケーブルを抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 湿気やほごりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- アンテナが誤って、目にささらないようにしてください。



### 登録商標について

本製品は公式ライセンスである 株式会社 CSR により製造、配布または販売されています。Vertex Standard、Standard、およびデザイン化された VS ロゴと SR ロゴは、Vertex Standard Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

©2023 CSR, Inc. All rights reserved.





## 応用の操作

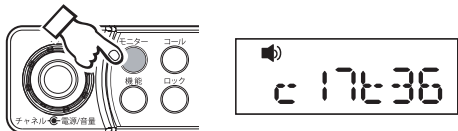
### モニター

スケルチを一時的に解除して弱い電波をモニターしたり、混信の有無を確認することができます。（シンプレックスモード及びセミデュプレックスモードのみ有効）

① アンテナの向きが正しいことを確認します。

② 待ち受け表示になることを確認します。

③ モニターキーを押します。



- モニター状態になり、【】が表示されます。
- 何も受信していない場合、「ザー」という音がスピーカーから聞こえます。弱い電波を受信している場合、「ザー」という音に混じって送信の内容が聞こえます。

④ モニター状態を解除するには、モニターキーを押します。

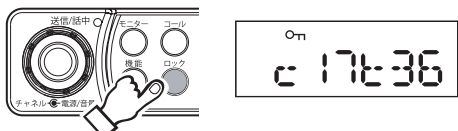
- スピーカーから聞こえていた音が止まり、【】が消えます。

### キーロック

本機の誤操作を防ぐために、ツマミやキーの操作ができなくなるキーロック機能があります。

キーロック中は、ロックキーとコールキーのみ使用可能です。

① ロックキーを 3 秒以上押します。



- キーロックになります。キーロック中は、【Om】が表示されます。

② キーロックを解除するには、ロックキーを 3 秒以上押します。

- 【Om】の表示が消え、キーロックが解除されます。

### VOX 機能

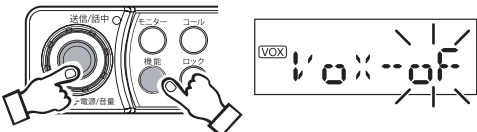
シンプレックスモードでは、VOX 機能<sup>※</sup>を設定すれば、PTT キーを押さなくても通話することができます。声を出せば、声を検出して送信し、声を出すのを止めると受信に戻ります。

他のモードでは、VOX 機能および VOX 機能の感度は設定できません。

※ VOX 機能を使用される時は、必ずシンプレックスモードの PTT 機能設定を PTT に設定してください。

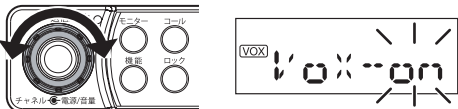
① 電源・音量ツマミを押し、電源を切ります。

② 機能キーを押したまま、電源・音量ツマミを 2 秒以上押します。



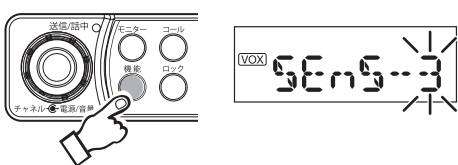
- 電源が入り、【GX100】と表示された後、VOX 機能の選択が表示されます。

③ 設定変更ツマミを回し、設定を【on】にします。



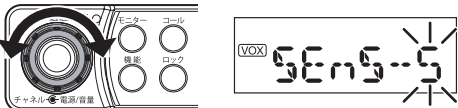
- VOX 機能がオンになります。

④ 機能キーを押し、VOX 機能の設定を決定します。



- 設定した VOX 機能が決定され、VOX 感度の選択が表示されます。
- VOX 感度の初期値は、3 が設定されています。

⑤ 設定変更ツマミを回し、VOX 感度を設定します。



- VOX 感度は 1~5 の 5 段階です。
- VOX 感度の値が大きいほど小さな音でも送信します。

⑥ 機能キーを押し、VOX 感度を決定します。

⑦ 電源・音量ツマミを押し、電源を切ります。

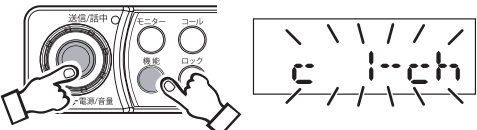
- 電源を切っても再度電源を入ると、設定した内容で動作します。

### 1mW 送信機能

リピーターモードおよびセミデュプレックスモードのとき、送信出力を 1mW に設定できます。送信出力を 1mW に設定すれば、制限時間無しで通話ができます。ただし、送信出力を 1mW に設定すると通話できる範囲は狭くなります。

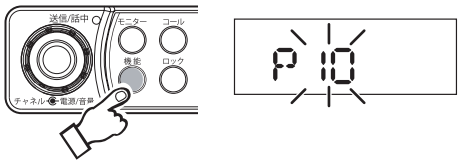
① 電源・音量ツマミを押し、電源を切ります。

② 機能キーを押したまま、電源・音量ツマミを 2 秒以上押します。



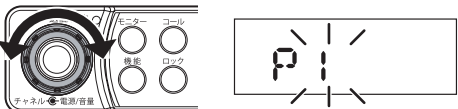
- 電源が入り、【GX100】と表示された後、機能の選択が表示されます。設定しているモードにより、表示される機能は違います。

③ 機能キーを何度か押し、送信出力設定にします。



- 初期値は【P10】(送信出力 10mW) が設定されています。
- モニターキーを押すと逆の順序で機能が選択できます。

④ 設定変更ツマミを回し、設定を【P1】にします。



- 送信出力が 10mW になります。

⑤ 機能キーを押し、送信出力を決定します。

⑥ 電源・音量ツマミを押し、電源を切ります。

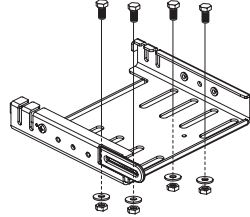
- 電源を切っても再度電源を入ると、設定した内容で動作します。

※フルデュプレックスモードの場合、送信出力は 1mW に設定されています。通話距離を長くしたい場合には、送信出力を 10mW に変更してください。但し、送信出力を 10mW に設定すると、通話時間は 3 分に制限されます。

## 取付方法

### 本体の取付方法

- ① 付属している本体取付金具と本体取付金具用ビス一式を用意します。
- ② 本機を取り付けたい場所に金具の位置に合わせ、穴を開けます。
- ③ 本体取付金具用ビス一式のビスとナットまたはセルフタップネジでネジ止めます。

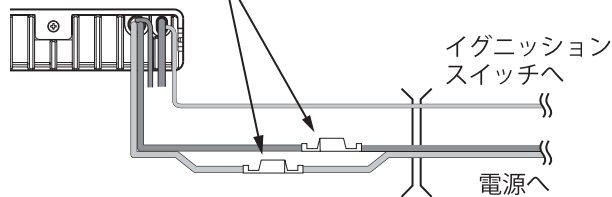
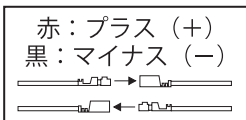


本体取付金具は上部または下部のどちらでも取り付けできます。

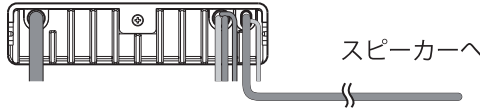
④ 本体電源ケーブルとバッテリー側電源ケーブルを接続します。

電源ケーブルは赤線を＋極に、黒線を－極（アース）に接続してください。

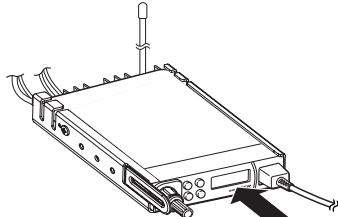
⑤ 車両でお使いの場合、車両の電源投入投入に連動して自動的に電源が入るようにする場合は、イグニッションケーブルを接続します。イグニッションケーブルが接続されている場合、本体の電源スイッチは無効になります。



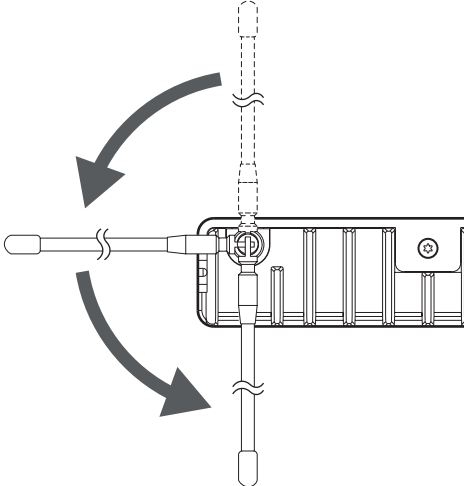
⑥ 本体スピーカーケーブルと付属の外部スピーカー（CSK500）を接続します。



⑦ 本体を取付金具に取り付けます。



⑧ アンテナの向きを調整します。



## 通信の機能（モード）の切り替え

### 通信の機能（モード）について

本機は、お使いになる状況に合わせて通信の機能（モード）を切り替えることができます。

#### ■シンプレックスモード

シンプレックスモード(単信通信動作)は、相手の方とチャンネルまたはチャンネルとトーンを合わせて交互に通話を行う方式です。

モード選択時の表示	通話時の表示例
SIMPL*	c 17t36 17 チャンネル/トーン 36

#### ■セミデュプレックスモード

セミデュプレックスモード(半複信通信動作)は、リピーター（中継器）を介して、シンプレックスモードと同様に相手の方とチャンネルとトーンを合わせて交互に通話を行う方式です。リピーターを介することで、通話範囲が広がります。

モード選択時の表示	通話時の表示例
SEMI*	c 15t08 15 チャンネル/トーン 08

#### ■リピーターモード

リピーターモード(中継器動作)は、本機をリピーター（中継器）として、他の無線機の中継を行います。

モード選択時の表示	設定時の表示例
REPETA	c 7t19 7 チャンネル/トーン 19

#### ■フルデュプレックスモード

フルデュプレックスモード(複信通信動作)は、相手の方のコード番号を選び、相手の方とチャンネルを合わせて、電話のように同時に通話を行う方式です。また、同じグループ内を一斉に呼び出すこともできます。

モード選択時の表示	通話時の表示例
DUPL*	GP 18--04 18 チャンネル/相手コード番号 04

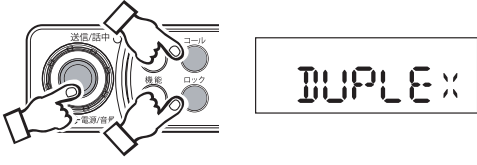
※工場出荷時は、フルデュプレックスモードになっています。ただし、本機のリセットを行うと、設定していたモードに戻ります。

### 通信の機能（モード）の切り替え方について

① 電源・音量ツマミを押し、電源を切ります。

② コールキーとロックキーを押したまま、電源・音量ツマミを押し、電源を入れます。

- 電源が入り、フルデュプレックスモードの選択が表示されます。



③ 設定変更ツマミを回しモードを選択します。



④ 機能キーを押し、選択したいモードを決定します。

⑤ 電源・音量ツマミを押し、電源を入れ直します。

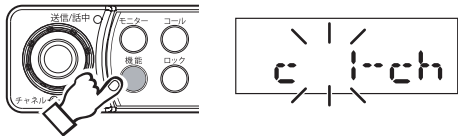


## 各モードでの通話

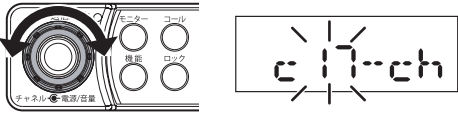
各モードで通話を行うときは、チャンネル、チャンネルおよびトーン、または相手方のコード番号等を選択して通話を行います。チャンネルとトーンなど通話に必要な設定は、予め登録しておく必要があります。通話に必要な設定の登録や変更については、お買い上げいただいた販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。

**シンプレックスモードおよびセミデュプレックスモード**  
相手の方とチャンネルまたはチャンネルとトーンを合わせます。セミデュプレックスモード時は、お使いになるリピーターともチャンネルとトーンを合わせます。10 秒間何も操作しないと、変更した時点の状態が決定されます。セミデュプレックスモード時は、表示部に「半複信」が表示されます。

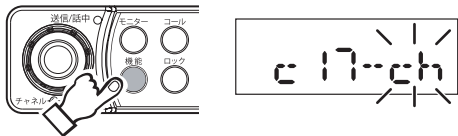
- 1 **機能キー**を押します。
  - チャンネルが変更可能となり点滅します。



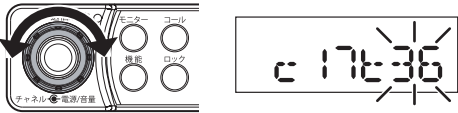
- 2 **設定変更ツマミ**を回し、チャンネルを選択します。



- 3 **機能キー**を押し、選択したチャンネル決定します。
  - トーンが変更可能となり点滅します。



- 4 **設定変更ツマミ**を回し、トーンを選択します。

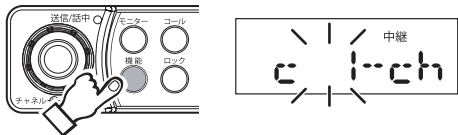


- 5 **機能キー**を押し、選択したトーンを決定します。
  - トーンの点滅が点灯に変わり変更が終了します。

### リピーターモード

本機を介して通話を行う無線機同士とチャンネルおよびトーンを合わせます。10 秒間何も操作しないと、変更した時点の状態が決定されます。

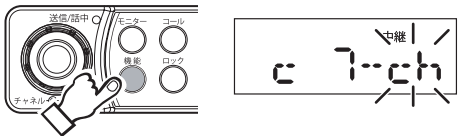
- 1 **機能キー**を押します。
  - チャンネルが変更可能となり点滅します。



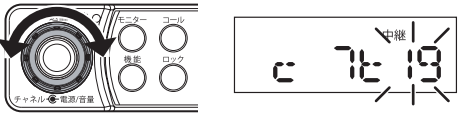
- 2 **設定変更ツマミ**を回し、チャンネルを選択します。



- 3 **機能キー**を押し、選択したチャンネル決定します。
  - トーンが変更可能となり点滅します。



- 4 **設定変更ツマミ**を回し、トーンを選択します。



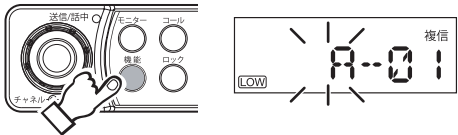
- 5 **機能キー**を押し、選択したトーンを決定します。
  - トーンの点滅が点灯に変わり変更が終了します。

**注意：**トーンはチャンネルごと設定してください。

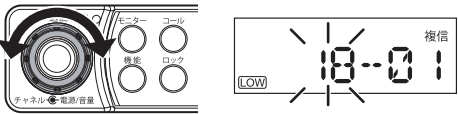
### フルデュプレックスモード

相手の方とチャンネルを合わせ、コード番号を選びます。または、一斉呼び出しを行います。10 秒間何も操作しないと、変更した時点の状態が決定されます。

- 1 **機能キー**を押します。
  - チャンネルが変更可能となり点滅します。

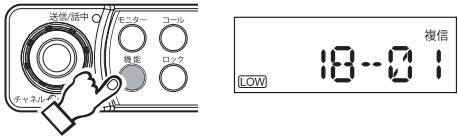


- 2 **設定変更ツマミ**を回し、チャンネルを選択します。

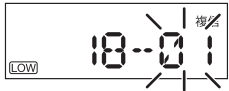


- チャンネルを【A】に設定すると、MCA(マルチ・チャンネル・アクセス)モードになります。

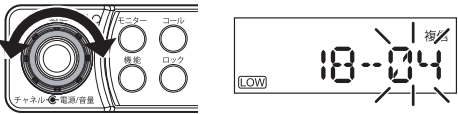
- 3 **機能キー**を押し、チャンネルを決定します。



- 4 コード番号の変更状態になります。
  - コード番号が変更可能となり点滅します。



- 5 **設定変更ツマミ**を回し、コード番号を選択します。



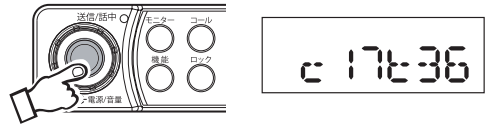
- 6 **機能キー**を押し、選択したコード番号を決定します。
  - コード番号の点滅が点灯に変わり変更が終了します。

**注意：**一斉呼出し時、呼び出された方(被呼側)から終話を行うと、再接続するために再度呼び出されます。

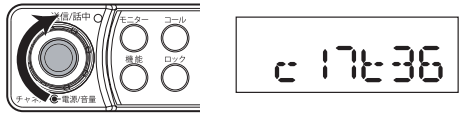
## 基本の操作

### 起動と待受および受信

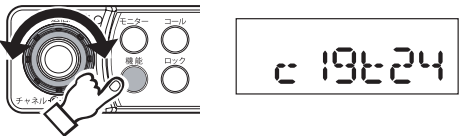
- 1 **電源・音量ツマミ**を押します。
  - 電源が入り、表示部が点灯します。



- 2 **電源・音量ツマミ**を半分くらい回します。

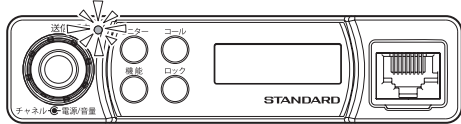


- 3 **設定変更ツマミ**と**機能キー**を使ってチャンネルとトーンまたは相手の方のコード番号を変更します。



- **設定変更ツマミ**を右(時計方向)に回すとチャンネルやトーン番号がアップします。
- **設定変更ツマミ**を左(反時計方向)に回すとチャンネルやトーン番号がダウンします。
- **機能キー**を押すと、設定できる項目の決定および移動が行えます。

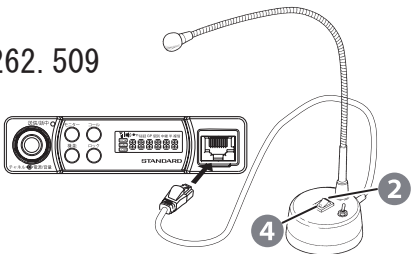
- 4 信号が入ると**送信 / 話中表示**が緑色に点灯することを確認します。



- トーンが設定されている場合は、トーン番号が一致した場合にスピーカーより音声聞こえてきます。一致しない場合は、信号強度表示(📶)は表示されますが、スピーカーより音声は聞こえません。

送信 357. 626

262. 509



※本機の送信は、オプションのスタンドマイク(CSM510 BまたはCSM520 B)の**PTT スイッチ**により行います。スタンドマイクを外部マイク端子に接続してください。CSM530を使用する場合は、GX100のコールボタンを押して送信します。

- 1 送信する前には必ず**送信 / 話中表示**が消えていることを確認します。
- 2 送信するには、スタンドマイクの**PTT スイッチ**を ON 側にします。
- 3 マイクに向かってゆっくりと明瞭に話します。
  - 通話時間は 3 分間です。通話時間が残り 10 秒になると「プブ」という音でお知らせします。
  - 本機をリピーターモードまたはフルデュプレックスモードに設定時は、送信出力を 1mW に設定できます。送信出力を 1mW に設定すると制限時間無く通話ができます。
- 4 送信を止めるには、スタンドマイクの**PTT スイッチ**を OFF 側にします。

**注意：**スタンドマイクのPTTスイッチをONにして送信開始した場合は、PTTスイッチをOFFにして送信停止してください。本体のコールキーを押して送信開始した場合は、コールキーを押して送信停止してください。

### 閉局

送受信が終わり閉局する時は、その旨を相手局(基地局または移動局)に伝えてから**電源・音量ツマミ**を押して電源を切ります。電源を切ると表示部が消えます。